

採集；2exs. (CKW)，大杉町 大杉谷川 alt. 270m, 14. XI. 2016, 筆者採集；1ex. (CKW)，大杉町 大杉谷川 alt. 545 m, 14. XI. 2016, 筆者採集；2exs. (CKW)，大杉町 大杉谷川支流 alt. 170 m, 14. XI. 2016, 筆者採集；5exs. (CKW)，新保町 大日川支流 alt. 619m, 13. XI. 2016, 筆者採集；1ex. (CNI)，同所, 13. XI. 2016, 稲畑憲昭採集；3exs. (CKW)，岩上町 西俣川, 16. VII. 2018, 筆者採集；2exs. (CNI)，新保町 大日川支流 alt. 660 m, 13. XI. 2016, 稲畑憲昭採集。加賀市：39exs. (CNI)，山中温泉市谷町 大聖寺川支流 alt. 200 m, 20. VIII. 2018, 稲畑憲昭採集。

謝辞

日本甲虫学会の稲畑憲昭氏にはナガアシドロムシ属の同定結果をご確認いただいた。稲畑氏，石川むしの会の佐藤卓也氏，石川県ふれあい昆虫館の福富宏和氏，名古屋昆虫同好会の吉村優杏氏には採集データをご提供いただいた。名古屋市衛生研究所の上手雄貴博士には文献をご恵与いただいた。石川むしの会には灯火採集の機会を与えていただいた。これらの方々に対し，厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 林 靖彦, 1976. 石川県産甲虫類雑記 (1). とっくりばち, (34-35): 6-7.
- Hayashi, M. & H. Yoshitomi, 2015. Endophallic structure of the genus *Zaitzeviaria* Nomura (Coleoptera, Elmidae, Elminae), with review of Japanese species. *Elytra*, Tokyo, New Series, 5(1): 67-96.
- 樋口陽平, 2013. 石川県およびその周辺における水生昆虫の採集記録 第5報. とっくりばち, (81): 50-51.
- 樋口陽平, 2014. 石川県およびその周辺における水生昆虫の採集記録 第6報. とっくりばち, (82): 50-51.
- 保科英人・佐々治寛之・高橋直樹・牛嶋啓明, 2003. 2002年石川県白山系で採集された甲虫類 付 オオキノコムシ科昆虫の1新種の記載. 福井大学地域環境研究教育センター研究紀要「日本海地域の自然と環境」, (10): 15-39.
- 稲畑憲昭, 2016. 京都府のヒメドロムシ, *Insect* 丹後・丹波, (130): 2-18.
- 石川県, 1998. 石川の自然環境シリーズ 石川県の昆虫. 537pp. 石川県環境安全全部自然保護課.
- 石川県, 2009. 改訂・石川県の絶滅のおそれのある野生生物いしかわレッドデータブック〈動物編〉2009. 446pp. 石川県環境部自然保護課.
- Jeng, M. -L. and Yang, P. -S., 1998. Taxonomic review of the genus *Grouvellinus* Champion (Coleoptera: Elmidae) from Taiwan and Japan. *Proc. Entomol. Soc. Wash.*, 100: 526-544.
- Kamite, Y., 2015. Revision of the genus *Optioservus* Sanderson, 1953, part 2: The *O. maculatus* species group (Coleoptera: Elmidae). *Koleopterologische Rundschau*, 85: 197-238.
- 上手雄貴・中島 淳・林 成多・吉富博之, 2018. 日本産ヒメドロムシ科の目録と分類学的な問題点. さやばねニューシリーズ, (29): 6-12.
- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2018. 環境省レッドリスト2018の公表について. (2018年8月7日参照) <https://www.env.go.jp/press/105504.html>
- 川瀬英夫, 2014. 中能登町でムナビロツヤドロムシとアワツヤドロムシを採集. とっくりばち, (82): 44.
- 野村進也, 2016. 近年の石川県内における水生昆虫の記録. とっくりばち, (84): 47-50.
- 富樫一, 1971. 能登半島松波川の夏の水生昆虫相. とっくりばち, (16): 1-2.
- 富沢 章, 2012. ヨコモジドロムシの石川県からの記録. とっくりばち, (80): 20.
- 渡部晃平, 2010a. 石川県におけるケスジドロムシの初確認. 甲虫ニュース, (171): 4.
- 渡部晃平, 2010b. 石川県未記録の水生甲虫7種の採集記録. 甲虫ニュース, (171): 9-10.
- 渡部晃平, 2010c. 奥能登のドロムシ・ヒメドロムシ その1. とっくりばち, (78): 38-40.
- 渡部晃平, 2011. 石川県におけるツヤナガアシドロムシの初記録. さやばねニューシリーズ, (2): 39.
- 渡部晃平・稲畑憲昭, 2016. 石川県におけるヒメドロムシ科3種の初記録. さやばねニューシリーズ, (23): 44.
- 吉道俊一, 2009. 石川県産甲虫類に関する記録・報告 I, とっくりばち, (77): 39-51.
- 吉道俊一, 2010. ツヤドロムシ *Zaitzevia nitida* Nomura に関する記録の訂正. とっくりばち, (78): 69.
- 吉富博之・白金晶子・疋田直之, 1999. 矢作川水系のヒメドロムシ. 矢作川研究, (3): 95-116.

(2018年8月27日受領, 2018年9月10日受理)

【短報】茨城県におけるクナシリジミガムシの記録

クナシリジミガムシ *Laccobius kunashiricus* はガムシ科ジミガムシ属の種である (図1). 本種は体長2.8-3.3 mm であり, 我が国では北海道と本州に分布する (上手, 2007). 筆者は未記録の茨城県において本種を採集したため, ここに報告する. なお, 同定は上手 (2007) に従い, 雄交尾器の確認により行なった (図2). 同定した結果, 採集した雄個体が全て本種であったため, 同時に採集した雌個体も本種と同定した. 標本は全て筆者が採集, 保管している.

1♀, 茨城県石岡市, 29. IX. 2016.

1箇所目の採集地は, ガマ *Typha latifolia* やセリ *Oenanthe javanica* が優占する水深の浅い湧水湿地である. 水生植物の根際をタモ網で掬い取ったところ, 本種が得られた. なお, 採集した1個体以外にも同種他個体が多数確認された.

1♀, 茨城県石岡市, 8. VI. 2017; 1♂, 同所, 22. VI. 2017; 1♂1♀, 同所, 17. VII. 2017.

2箇所目の採集地は, 湧水湿地の北側に位置する水田である. 湧水湿地に比べ, 水田では本種の個体数は少なかった.

茨城県において記録のあるジミガムシ属 *Laccobius* は, ジミガムシ *L. bedeli*, ヒメジミ

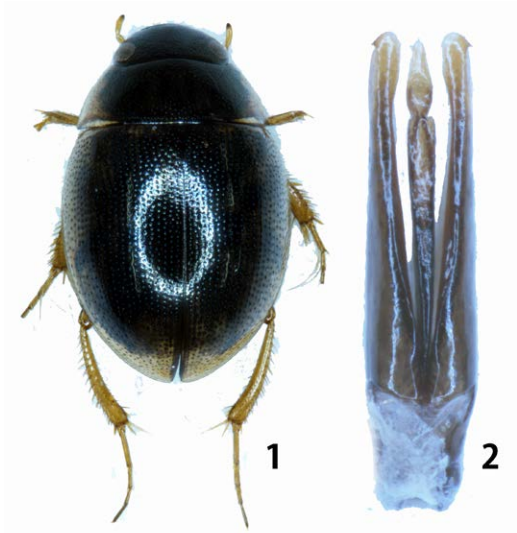


図1-2. 茨城県産クナシリジミガムシ雄個体 (1) および雄交尾器 (2)。

ガムシ *L. fragilis*, コモンシジミガムシ *L. oscillans*, コマルシジミガムシ *L. masatakai* の4種である (高野・大桃, 2000; 高野・大桃, 2008)。シジミガムシとクナシリジミガムシは外部形態が類似しているため (上手, 2007), これまでシジミガムシとして記録されていた標本の中にクナシリジミガムシも混在している可能性がある。茨城県における本属の正確な分布状況を明らかにするためには, 県内のシジミガムシ属の標本を見直す必要があるだろう。

末筆ではあるが, 茨城県におけるシジミガムシ属の記録について教えてくださった大桃定洋博士, 原稿をご校閲いただいた筑波大生命環境系の横井智之助教には厚くお礼申し上げる。

引用文献

- 上手雄貴, 2007. 日本産シジミガムシ属. 昆虫と自然, 42(2): 12-16.
 高野 勉・大桃定洋, 2000. 茨城県産甲虫リスト. るりぼし, (23): 2-155.
 高野 勉・大桃定洋, 2008. 茨城県産甲虫リスト補遺 (2). るりぼし, (36): 18-37.

(渡辺黎也 305-8572 つくば市天王台 1-1-1
 筑波大学保全生態学研究室)
 (e-mail: biolfc14.cb@gmail.com)

【短報】岡山県におけるアヤスジミゾドロムシの採集記録

アヤスジミゾドロムシ *Graphelmis shirahatai* (Nomura) は全国的に記録の少ないヒメドロムシのひとつで, 環境省のレッドリスト2018では絶滅危惧IB類 (EN) に選定されている (環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2018)。吉富ほか (1999) によると, 山形・宮城・新潟・東京・愛知・兵庫の各県からの記録があるが, 近年の記録は愛知県の矢作川に限られていると書かれている。その後, 愛知県では矢作川水系のいくつかの河川で記録が追加され (市川, 2013), 島根県の斐伊川 (Hayashi, 2007) と神戸川の支流 (林ほか, 2011), 新潟県中越地区の信濃川水系の数か所 (Iwata, 2011; 岩田ほか, 2012) でも得られ, 生態的な知見も徐々に集約されてきている。

岡山県内においては, 河川環境データベース河川水辺の国勢調査 (国土交通省, 2018) で旭川水系において種名が記録されているのみで, 詳細なデータを伴った記録がない。

この度, 筆者らは以前から時々採集に訪れていた旭川周辺を調査していたところ, 脇流に沈んでいた流木より本種を確認したので報告する。

42exs., 岡山市中区 旭川水系, 4. VIII. 2018, 末長晴輝・山地治採集・保管 (図1)。

流れのある浅い水中に落ちていた数本のヤナギ



図1. 岡山県産アヤスジミゾドロムシ (末長撮影)。